

今月の
おすすめ

芸術



フェルメールのカメラ

光と空間の謎を解く

フィリップ・ステッドマン著

十七世紀を代表する画家、ヨハネス・フェルメール。「光の画家」とも呼ばれる彼の、窓から降り注ぐやわらかな光に心を奪われた方も多いのではないだろうか。

フェルメールの絵は遠近法的に正確に構成されている。本書では、その正確な遠近法が「カメラ・オブスクラ」という、カメラの前身となった装置を用いて描かれたのではないかと論じているのである。著者は、実際に絵の舞台となった部

屋を再現し、比較しながら照明しようとしている。

絵の詳しい説明や、フェルメールの生涯について深く書かれている訳ではないし、実際にフェルメールが「カメラ・オブスクラ」を使用していたのかは定かではないが、一枚一枚の絵を細かく分析している貴重な書籍である。

新曜社

三三六〇円

正月